

令和元年度 事務事業総点検シート(1)
[平成30年度事務事業]

一般会計		事務事業分類		D 建設・整備事業	
事務事業名		百舌鳥古墳群ガイダンス施設等整備事業		シート番号	
担当部署名		文化観光 局 世界文化遺産推進室 部		評価責任者(課長名)	
				増田	

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	2	誰もが幸せで、暮らしの質の高いまちを実現します	後期実施計画の位置付け
			施策	1	歴史文化を活かしたまちづくりの推進	有
	2	事業開始年度	平成 24 年度		終了(予定)年度	令和 3 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)				
	4	関連計画	(仮称)百舌鳥古墳群ガイダンス施設基本計画			
5	事業実施の経緯	百舌鳥古墳群を人類共通の遺産として保存・継承し、歴史と文化を活かしたまちづくりを推進するため、多くの市民や来訪者に百舌鳥古墳群の価値を理解してもらい、保護の必要性を感じてもらえるためのガイダンス施設や周遊を促すサイン整備が必要である。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()				
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか。)	市民、来訪者等				
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか。)	市民・来訪者の方に世界文化遺産登録をめざす百舌鳥古墳群の歴史的意義や価値を理解してもらい、古墳群の保護意識を醸成するとともに、古墳群を堺の魅力として広く国内外に情報発信する。				
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	百舌鳥古墳群の雄大さを来訪者に体感していただくとともに、展示等を通じて、その歴史的意義や価値について知っていただくためのガイダンス施設や周遊サインについても整備する。 ○スケジュール 平成28～29年度 建設工事基本設計・実施設計、展示設計 平成30年度秋頃 イコモス現地審査 令和元年度～ 遺産影響評価について検討を深める				
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 () 委託業務の受注業者					

Ⅲ. 投入量

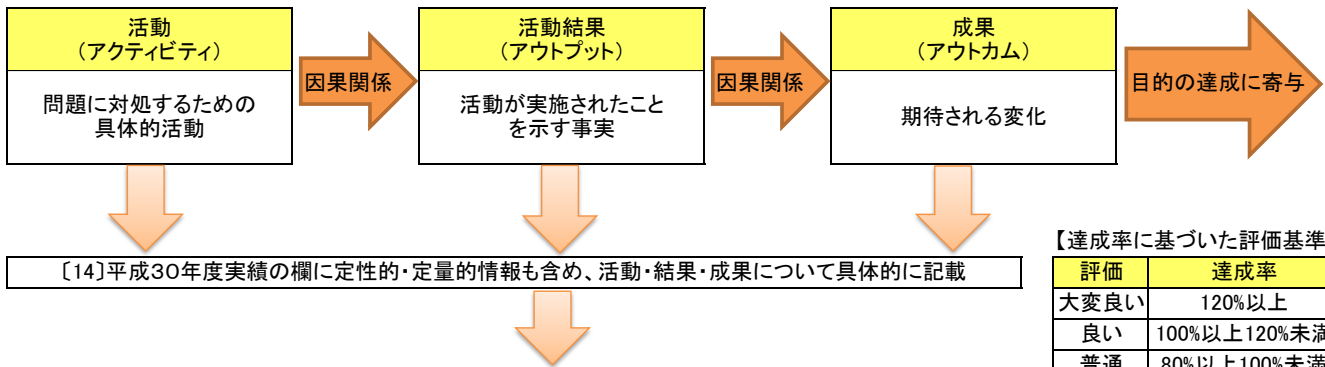
項目		単位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算	
事業コスト	11 事業費 (a)	千円	135,459	162,621	49,257	1,025,008	
	主な事業費内訳	既存建物解体・予定地維持管理等	千円	1,995	2,675	9,125	10,850
		ガイダンス施設整備等	千円	70,762	69,745	17,182	929,488
		視点場整備等	千円	60,342	28,669	0	0
		サイン整備	千円	0	4,274	22,950	0
	財源内訳	国・府支出金	千円	28,900	25,200	16,449	177,233
		受益者負担金(使用料、手数料等)	千円	7	7	7	7
		市債	千円	44,600	81,200	0	618,500
		その他()	千円				
	12	人件費 (b)	千円	25,480	22,960	22,960	25,200
	13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	160,939	185,581	72,217	1,050,208

令和元年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	百舌鳥古墳群ガイダンス施設等整備事業	シート番号	08-69
-------	--------------------	-------	-------

Ⅳ. 評価(測定・分析)

ロジックモデルの考え方



[14]平成30年度実績の欄に定性的・定量的情報も含め、活動・結果・成果について具体的に記載

[15]または[16]に定量的な指標、または定性的な目標を記載

【達成率に基づいた評価基準】

評価	達成率
大変良い	120%以上
良い	100%以上120%未満
普通	80%以上100%未満
少し悪い	60%以上80%未満
悪い	60%未満

事業の活動内容や成果

平成30年度実績								
活動実績と成果	14	・資産の近くに(仮称)百舌鳥古墳群ガイダンス施設を整備することで資産に与える影響を評価する「遺産影響評価」を行い、イコモスによる現地審査の際に施設整備計画の説明を行った。 ・百舌鳥古墳群の周遊サインの整備を行った。(誘導サイン18基、解説サイン36基)						
	15	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
		サイン整備	基	目標値	8	48	35	0
				実績値	0	48	54	
				達成率	0%	100%	154%	
	評価	悪い		良い	大変良い			
	算出方法・設定根拠など		周遊路上の誘導サイン、解説サインの整備数					
	16	目標						
		ガイダンス施設開設 (平成30年度 イコモス審査への対応) (令和元年度 イコモス勧告への対応)						
		目標に対する実績	H30年度はイコモスによる現地審査の際に施設整備計画の説明を実施。					

業績の分析

17	目標を達成できた、または達成できなかった要因についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
	・周遊サイン整備については、関係部署と連携し目標数を上回る成果を上げることができた。 ・(仮称)百舌鳥古墳群ガイダンス施設整備については、遺産影響評価の実施やイコモス審査への対応などを行い、着工に向けた準備を進めた。

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 事業の有効性は高いですか。低いですか。